



平成 18 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー  
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者  
吉田 博昭  
( J A S D A Q ・ コード番号 : 4358 )  
問い合わせ先 取締役兼グループ執行役員  
飯田 浩一  
電話番号 03-5434-1586

#### 海外クリエイティブ・エージェンシーへの出資に関するお知らせ

当社は、グループ事業の 1 つである WEB コンテンツ企画・制作クリエイティブ能力の拡大とビジネススキームの拡充を図る目的で、当社の子会社であり欧米統括中間持株会社である TYO International B.V. は、grouek SARL (France) が新たに発行した株式を引き受ける事を 6 月 23 日付の取締役会にて決議し、6 月 30 日付で grouek SARL への出資（新株引受）が完了致しましたので、お知らせ致します。本出資完了により、新株引受後の grouek SARL 発行済株式数の 15.25% を取得致しました。

#### 記

##### 1. 投資先の概要

- (1) 商号 grouek SARL  
(2) 設立年月日 2004 年 7 月 12 日  
(3) 本店所在地 7, Rue Oberkampf, 75011 Paris, France  
(4) 代表者名 SONIA BORSARELLI  
(5) 資本の額 EUR 11,800  
(6) 発行済株式数 236 株  
(7) 大株主

		所有株式数	発行済株式の総数に占める割合
SONIA BORSARELLI	Gerants (取締役)	68	28.81%
EMMANUEL SACCOCCINI	Gerants (取締役)	68	28.81%
CÉCILE PONDARD	Gerants (取締役)	64	27.12%
TYO International B.V.		36	15.25%

- (8) 決算期 12 月 31 日  
(9) 従業員 4 人(常勤 Gerants 3 名を含む)

(10) 事業内容 WEB コンテンツの企画・制作

(11) 当社との資本関係、人的関係、取引等の概要

資本関係：TYO International B.V. より 15.25%出資

人的関係：TYO International B.V. より取締役1名が兼任

## 2. 新株引受の理由

出資先の grouek は、ビジュアル・コミュニケーション、ユーザー・エクスペリエンス、そしてデジタル・テクノロジーの三つの融合をインタラクティブ・メディアにおいて実現すべく、2000年にフリーランサー・スタジオとして設立されました。2004年に法人化後、フランスを中心とした欧州各国におけるWEBコンテンツの企画／制作はもちろんのこと、日本国内においても当社連結子会社である株式会社ティー・ワイ・オーインタラクティブデザインとの協業により様々なWEBコンテンツの企画／制作で大きな実績を残しております。

当社と致しましては、同社への出資と人員交流により、2005年4月に当社が出資を行いました英国 unit9 を含めた欧米市場に置けるクリエイティブ・ネットワークの構築と、当社連結子会社である株式会社ティー・ワイ・オーインタラクティブデザインや株式会社ネクシスコミュニケーションズとのアライアンスによるWEBコンテンツ制作ビジネスの拡大（国内クライアントや海外クライアントの受注増加とコスト・コントロール効果）が期待できます。

### 【grouek 受賞歴】

2000年：Trophée de la pub / G !TV dynamic フラッシュバナー・システム  
（フランステレコム主催によるインタラクティブ広告賞）

2005年：Gold WebAd Award / Absolut Raspberri インタラクティブバナー  
（インタラクティブ広告協議会（IAB）オーストリア支部主催によるWEB広告賞）

## 3. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株（所有割合 0.0%）          |
| (2) 譲渡株式数     | 36株（譲渡価額 EUR15,000）    |
| (3) 移動後の所有株式数 | 36株（所有割合 15.25%）       |
| (4) 取得内容      | 新たに発行した株式を引き受けることにより取得 |

## 4. 株式譲受等の日程

平成18年6月23日 新株引受契約締結

平成18年6月30日 新株式取得

## 5. 今後の業績に与える影響

当期の連結損益に与える影響は、出資比率が15.25%であるため直接的にはありませんが、今後ビジネス面でのアライアンスを検証しつつ、グループ参入も検討して参ります。

なお、平成18年9月期の連結業績予想に変更はございません。

以 上